

Innovation
design
Platform



代表者:

東京医科歯科大学 山岡 昇司

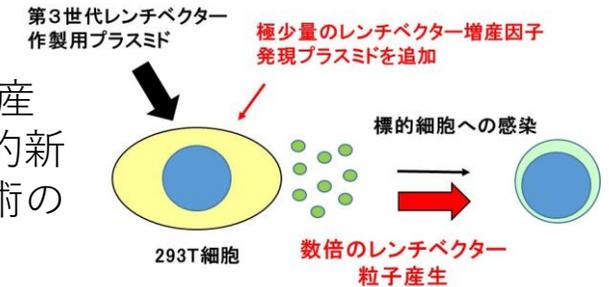
採択テーマ:

画期的なレンチウイルスベクター
増産法を浮遊細胞培養系に
適用できることを実証する

課題名 レンチウイルスベクター増産法を浮遊細胞培養系に適用できることを実証する

技術シーズの概要

遺伝子治療用レンチベクターの調製時、ベクター産生細胞に少量の増産因子を共導入し、単位細胞あたりの産生量を飛躍的に増大させる独創的新技術を開発した。工業的応用にむけて、浮遊細胞培養系における本技術の有効性を確立し、起業へ向けた事業の優位性と独占性の根拠を得る。



ビジネスモデル(申請時)

本活動期間中に事業計画の骨子を作製し、終了後にベンチャーを設立、東京医科歯科大学より対象特許の実施許諾を受け、事業計画書を作成して、VCなどからの資金調達を行う。設立するベンチャーに関係知財を集約し、ベンチャーはCDMOなどにライセンスする業務を行い、収益をあげる。

活動計画(申請時)

2022年3月末までに①～⑤の調査にもとづき事業計画書の骨子を作成し、ベンチャーの設立を目指す。①現状のウイルス製造法調査、②競合技術調査、③現状製造法問題点リストアップ、④クライアントとなるCDMO調査、⑤製造コスト削減計算およびロイヤルティー根拠調査。また、ベンチャー設立のためには大学特許をベンチャーに集約する必要があり、2022年3月までに大学とライセンス条件を合意しておく。

